

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-20-1
事業名	町民参加の復興まちづくり計画策定事業
事業費	総額 217,100 千円(国費 162,824 千円) (内訳: 業務委託 217,100 千円)
事業期間	平成 24 年度～平成 27 年度
事業目的・事業地区(必要に応じ、別紙として地図を添付)	原子力災害により町内全域に避難指示が出され、全町民が全国各地に避難している状況。当町の復興に向けて、町が取り組むべき短期・中期・長期的な目標及び施策等を示すため、町民からの避難生活の課題や将来の生活に対する意見や提案、要望等を踏まえ、復興まちづくり計画等の各種の計画・構想を策定するものである。
事業結果	町民参加型の復興会議等を開催し、町民の意見・提案等を踏まえて、町の復興と町民一人一人の復興を掲げた復興まちづくり計画等を次のとおり策定した。 (平成 25 年度) ○双葉町復興まちづくり計画(第一次)策定(平成 25 年 6 月) ○双葉町復興まちづくり計画(第一次)事業計画(実施計画)策定(平成 26 年 3 月) (平成 26 年度) ○双葉町復興まちづくり計画(第一次)事業計画(実施計画)改定(平成 27 年 3 月) ○双葉町津波被災地域復旧・復興事業計画策定(平成 27 年 3 月) ○双葉町外拠点コミュニティ形成事業計画策定(平成 27 年 3 月) ○双葉町復興まちづくり長期ビジョン策定(平成 27 年 3 月) (平成 27 年度) ○双葉町復興まちづくり計画(第一次)事業計画(実施計画)改定(平成 28 年 3 月) ○双葉町内復興拠点基本構想策定(平成 28 年 3 月)
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>町内の見通しが不透明ななかでの取り組みであったため、計画通りに進めることができない状況もあったが、計画の進捗管理を踏まえた見直しを行い、各種計画・構想の内容を踏襲した「双葉町復興まちづくり計画(第二次)」及び「双葉町特定復興再生拠点区域復興再生計画」の策定につなげ、帰還に向けた方針を示すことができた。今まさに計画の具現化に向け町内の復興・復旧事業に着手したところであり、本事業の成果が十分に活用されているものと評価している。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>町内の見通しが不透明ななかでの取り組みであったため、同種他事業との比較は困難な状況であるが、全町民が全国各地に避難し、分散した町民の意向調査や有識者の知見等を効率よく踏まえられた計画策定ができ、当該事業費は妥当なものと考えている。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>各種計画・構想の策定にあたっては、まちづくり等コンサルタントを活用し、方策案の取りまとめを行ったが、町民会議やWebサイトを活用するなど町民参加型の取り組みで分散した町民の意見等を十分に反映したものとなっており、その事業手法は妥当なものと考え</p>

ている。

事業担当部局

復興推進課 電話番号:0246-84-5203